「第二期鹿児島市子ども・子育て支援事業計画」における教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業提供体制の取組状況及び見直し(案)

1. 教育・保育施設の提供体制

(全市域)

ア. 点検・評価

		一种 对示					(平位:八)				
## (数有ニーズ) 3~5歳 (数有ニーズ) 3~5歳 (公)				+2号	1号認定 ·認定(教育二	ーズ)		2号認定十	-3号認定		
□ 1 計画				1号(A)			2号(C)	3号	(D)		
				3~5歳	3~5歳	(A) I (B)	3~5歳	O歳	1~2歳	(0) 1 (D)	
[A]		皇の日377		5,938	1,637	7,575	7,983	705	5,232	13,920	
程保方策 [B] (3差(2)-(1)			_	4,868	2,583	7,451	8,130	612	5,099	13,841	
程保方策 [B]		L/ \2	③差(②-①)	△ 1,070	946	△ 124	147	△ 93	△ 133	△ 79	
(B)		本原士学	④ 計画	8,251	1,544	9,795	7,303	2,087	4,710	14,100	
(日)	2	唯体力束 【B】	_	7,092	2,583	9,675	7,168	2,063	4,686	13,917	
(B) - (A) (B) 実績(5-2) 2,224 0 2,224 △ 962 1,451 △ 413 766 200 1)を (B) 大阪	年	101	⑥差(⑤-④)	△ 1,159	1,039	△ 120	△ 135	△ 24	△ 24	△ 183	
確保必要数 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	度	[B]_[A]	⑦計画(④-①)	2,313	△ 93	2,220	△ 680	1,382	△ 522	180	
確保必要数		(8)美績(5)-(2))		2,224	0	2,224	△ 962	1,451	△ 413	76	
1 1 1 1 1 1 1 1 1			⑨計画		-		250	70	160	480	
量の見込み [A] 「計画 5,778 1,583 7,361 8,030 699 5,334 14,063 ②実績 4,572 2,639 7,211 8,094 542 5,005 13,641 ③差(2-①) △ 1,206 1,056 △ 150 64 △ 157 △ 329 △ 422 6,505 (5)乗績 6,826 2,639 9,465 7,183 2,137 4,870 14,580 (6)差(5)-④) △ 1,478 1,148 △ 330 △ 370 △ 24 △ 44 △ 438 (6)差(5)-④) 2,526 △ 92 2,434 △ 477 1,458 △ 464 517 (8)実績 7)計画 (9)計画		確保必要数		_			69	40	91	200	
			①差(①-⑨)		-		△ 181	△ 30	△ 69	△ 280	
[A] ②美線 4,5/2 2,639 7,211 8,094 542 5,005 13,641 3 差(2-1) △ 1,206 1,056 △ 150 64 △ 157 △ 329 △ 422 4 2 4 2 4 2 4 2 4 2 4 2 4 2 4 2 4				5,778	1,583	7,361	8,030	699	5,334	14,063	
選挙(②一①) △ 1,206 1,056 △ 150 64 △ 157 △ 329 △ 422 41画 8,304 1,491 9,795 7,553 2,157 4,870 14,580 6差(⑤-④) △ 1,478 1,148 △ 330 △ 370 △ 24 △ 44 △ 438 6差(⑤-④) 2,526 △ 92 2,434 △ 477 1,458 △ 464 517 6 8実績(⑥-②) 2,254 0 2,254 △ 911 1,591 △ 179 501 6 20 1 1 3 6 20 1 1 1 3 6 20 1 1 1 3 6 20 1 1 1 1 3 6 20 1 1 1 1 3 6 20 1 1 1 1 3 6 20 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			②実績	4,572	2,639	7,211	8,094	542	5,005	13,641	
## (B) (S) 実績 6,826 2,639 9,465 7,183 2,133 4,826 14,142 (S) 差(S) (S) (A) (A) 1,478 1,148 (A) 330 (A) 370 (A) 24 (A) 44 (A) 438 (S) (S) (S) (S) (S) (A) (S) (S) (S) (A) (S) (S) (S) (S) (S) (S) (S) (S) (S) (S		L/ \2	③差(②-①)	△ 1,206	1,056	△ 150	64	△ 157	△ 329	△ 422	
(B) (B) (B を (B - 4))		催保万策	④ 計画	8,304	1,491	9,795	7,553	2,157	4,870	14,580	
年度 [B]-[A] (高差(⑤-④)			⑤実績	6,826	2,639	9,465	7,183	2,133	4,826	14,142	
【B】-【A】 ⑧実績(⑤-②) 2,254 0 2,254 △ 911 1,591 △ 179 501 一	年	102		△ 1,478	1,148	△ 330	△ 370	△ 24	△ 44	△ 438	
審保必要数 (1) 実績 (5) (2) (2,254	度	[B]_[A]	⑦計画(④-①)	2,526	△ 92	2,434	△ 477	1,458	△ 464	517	
確保必要数 (⑪実績 - 11 3 6 20 (1) 差 (⑪-⑨) - 11 3 6 20 (1) 差 (⑪-⑨) - 11 3 6 20 (1) 差 (⑪-⑨) - 11 3 6 20 (1) 表 (⑪・⑨) - 11 3 6 20 (1) 表 (⑪・⑩・⑨) - 11 3 6 20 (1) 表 (⑪・⑩・⑨) - 11 3 6 20 (1) 表 (⑪・⑩・⑨) - 11 3 6 20 (1) 表 (⑪・⑪・⑩) - 11 3 6 20 (1) 表 (⑪・⑪・⑪) - 11 3 6 20 (1) 表 (⑪・⑪・⑪) - 11 3 6 20 (1) 表 (⑪・⑪・⑪) - 11 3 6 20 (1) 表 (⑪・⑪) - 11 3 6 20 (1) 表 (⑪・⑰) - 11 3 (1) 表 (⑪		[0] [4]	⑧実績(⑤-②)	2,254	0	2,254	△ 911	1,591	△ 179	501	
11 3 6 20 日本			⑨計画		-		_	-	_	-	
量の見込み 【A】 ②実績 4,326 2,625 6,951 7,969 562 4,799 13,330 ③差(②-①) △ 1,255 1,101 / △ 154 △ 63 △ 133 △ 642 △ 838 4 計画 8,305 1,490 9,795 7,553 2,157 4,870 14,580		確保必要数	0 2 4 124		_		11	3	6	20	
量の見込み 【A】 ②実績 4,326 2,625 6,951 7,969 562 4,799 13,330 ③差(②-①) △ 1,255 1,101 / △ 154 △ 63 △ 133 △ 642 △ 838 4 計画 8,305 1,490 9,795 7,553 2,157 4,870 14,580					_		11	3	6	20	
(A) ②美線 4,326 2,625 6,951 7,969 562 4,799 13,330 3差(②-①) △ 1,255 1,101 / △ 154 △ 63 △ 133 △ 642 △ 838 4 本場上海 ④計画 8,305 1,490 9,795 7,553 2,157 4,870 14,580		豊の目:3.4	_	5,581	1,524	7,105	8,032	695	5,441	14,168	
3差(2-1)			_	4,326	2,625	9 6,951	7,969	562	4,799	13,330	
		K***2	③差(②-①)	△ 1,255	1,101	△ 154	△ 63	△ 133	△ 642	△ 838	
	4 年 度	难 但七笙	_	8,305		9,795	7,553	2,157	4,870	14,580	
年 [B] り美額 6,746 2,625 9,371 7,139 2,150 4,860 14,148			⑤実績	6,746	2,625	9,371	7,139	2,150	4,860	14,149	
度 <u> </u>				△ 1,559	1,135	△ 424	△ 414	Δ7	Δ 10	△ 431	
		[B]-[A]		2,724	△ 34		△ 479	1,462	△ 571	412	
		[B]-[A]	8実績(5-2)	2,420	0	2,420	△ 830	1,588	61	819	
確保必要数 ⑨計画		確保必要数	9計画		-]		_	-	-	_	

(各年度4月1日時点)

(単位:人)

【用語解説】

「1号」 子どもが満3歳以上で、幼稚園等での教育を希望される場合

利用先:幼稚園、幼保連携型認定こども園、幼稚園型認定こども園

「2号 (教育ニーズ)」 子どもが満3歳以上で、保育の必要な事由に該当するが、幼稚園等での教育を希望される場合

利用先:幼稚園、幼保連携型認定こども園、幼稚園型認定こども園

「2号」 子どもが満3歳以上で、保育の必要な事由に該当し、保育所等での保育を希望される場合

利用先:保育所、幼保連携型認定こども園、幼稚園型認定こども園

「3号」 子どもが満3歳未満で、保育の必要な事由に該当し、保育所等での保育を希望される場合

利用先:保育所、幼保連携型認定こども園

「量の見込み」 幼稚園・保育所等の利用状況等から見込まれる教育・保育を必要とする子どもの数 ⇒(※需要)

「1号」、「2号(教育ニーズ)」:幼稚園・認定こども園の利用定員

「2号」、「3号」:保育所・認定こども園の利用定員、企業主導型保育施設(地域枠)の定員

⇒(※受け皿)

「確保必要数」 「量の見込み」に対する「確保方策」の不足数 ⇒(※新たに確保を目指す受け皿の数)

【関連データ】

◎ 保育所等待機児童数

(広域委託含む)

※各年度4月1日時点										
30年度	R元年度	2年度	3年度	4年度						
158人	209人	216人	82人	136人						

【過不足理由】(R2~R4)

(量の見込み)

- ・1号認定+2号認定(教育ニーズ)…合計数に大きな乖離はないが、一時預かりの需要が増加しており、2号(教育ニーズ)は実績 が計画を大きく上回っている。
- ・2・3号認定…就学前児童数が見込を下回ったことなどから、実績が計画を下回った。1~2歳についてはR4年度は計画を10%以 上下回った。

(確保方策)

- ・1号認定+2号認定(教育ニーズ)…合計数に大きな乖離はないが、一時預かりの需要が増加しており、2号(教育ニーズ)は実 績が計画を大きく上回っている。
- ・2・3号認定…合計数に大きな乖離はないが、確保必要数を計画通り確保できなかったこと及び、利用定員の滅を行う施設が あったことから、各認定区分で計画を下回っている。

※大きな乖離=10%以上の乖離

(国事務連絡「第二期市町村子ども・子育て支援事業計画等に関する中間年の見直しのための考え方について」より)

【今後の方針】

本市の待機児童数(令和4年4月1日時点)は、市区町村別で全国ワースト1位と大変厳しい状況にあり、その早期の解消を目指

ハード面では、既存施設を活用した定員増に加え、地域型保育事業も含めた施設の整備により、確保必要数の確保を行う。 また、ソフト面では、潜在・県外保育士就職奨励金などにより、保育士等、保育人材確保を促進するとともに、保育士等奨学金返 済補助事業等により、保育士等の処遇改善を図る。

イ. 見直し(案)等

見直し 方針

要 否 要:見直し理由 否:見直さない理由

量の見込みが計画と実績で10%以上のかい離が生じていること から、国が示した考え方に基づき見直しを行うもの。

				+2号	1号認定 ·認定(教育二	ーズ)		2号認定+	-3号認定	
				1号(A)	2号(B) (教育ニーズ)	合計 (A)+(B)	2号(C)	3号	(D)	合計 (C)+(D)
				3~5歳	3~5歳	(A) I (B)	3~5歳	O歳	1~2歳	(0) 1 (D)
		量の見込み	①計画	5,581	1,524	7,105	8,032	695	5,441	14,168
		I EU兄込の 【A】	②見直し後	4,062	9 2,462	• 6,524	7,785	600	4,961	13,346
見		L/ CJ	③差(②-①)	△ 1,519	938	△ 581	△ 247	△ 95	△ 480	△ 822
見直			④計画	8,361	1,434	9,795	7,553	2,157	4,870	14,580
し	5	確保方策 【B】	⑤見直し後	6,909/	2,462	9,371	7,416	1,950	4,778	14,144
後の	年	r _D 1	⑥差(⑤-④)	△ 1,452	1,028	△ 424	△ 137	△ 207	△ 92	△ 436
量	度	[5] [4]	⑦計画(4)-①)	2,780	△ 90	2,690	△ 479	1,462	△ 571	412
の の		[B]-[A]	8見直し後(⑤-②)	2,847	0	2,847	△ 369	1,350	△ 183	798
見			9計画							
込			⑪見直し後							
みれ			①差(⑩-⑨)							
及び		星の日はつ	①計画	5,581	1,524	7,105	8,032	695	5,441	14,168
確		量の見込み 【A】	②見直し後	3,880	2,349	6,229	7,674	596	4,947	13,217
保		LAI	③差(②-①)	△ 1,701	825	△ 876	△ 358	△ 99	△ 494	△ 951
保方		確保方策	④計画	8,361	1,434	9,795	7,553	2,157	4,870	14,580
策	6	(B)	⑤見直し後	7,022	2,349	9,371	7,416	1,950	4,778	14,144
\sim	年	151	⑥差(⑤-④)	<u> </u>	915	△ 424	△ 137	△ 207	△ 92	△ 436
案	度	[B]-[A]	⑦計画(4)-①)	2,780	△ 90	2,690	△ 479	1,462	△ 571	412
0		1-2 1-2	8見直し後(⑤-②)	/3,142	0	3,142	△ 258	1,354	△ 169	927
			9計画							
		確保必要数	⑪見直し後							
			⑪差(⑩-⑨) /							
			/	/		\ \	1			
			4]		<u>\</u>				
			ウ				1			

見直し後の確保必要数 460 ol 380 840

※6年度に見込まれる不足数を解消するために必要な数

【見直し後の教育・保育の量(需要量)の見込み算出の考え方】

・【1号】及び【2号】(教育ニーズ)については、実際の利用者数と比較してニーズ調査の数値が大きく下回っていたこ とから、地域別に平成27年度から令和元年度における就学前児童のうち幼稚園等を利用している児童の割合の推 移を基に教育需要の見込みを算出し、推計児童数に乗じて算出する。

・【2号】及び【3号】については、実際の利用者数と比較してニーズ調査の数値が大きく上回っていたことから、地域 別に平成27年度から令和元年度における就学前児童のうち保育所等の利用申込みを行っている児童の割合の推 移を基に保育需要の見込みを算出し、推計児童数に乗じて算出する。なお、保育需要は増加傾向にあるものの、就 学前児童数は減少傾向にあることを踏まえ、中間年見直しを行う令和4年度の量の見込みを令和5・6年度に据え置 くこととする。

【見直しに当たっての算出の考え方(5年度・6年度)】
・【1号】及び【2号】(教育ニーズ)については、区域別に<u>平成30年度から令和4年度</u>における就学前児童のうち幼稚 園等を利用している児童の割合の推移を基に教育需要の見込みを算出し、推計児童数に乗じて算出する。

・【2号】及び【3号】については、区域別に<u>平成30年度から令和4年度</u>における就学前児童のうち保育所等の利用申 込みを行っている児童の割合の推移を基に保育需要の見込みを算出し、推計児童数に乗じて算出する。

【見直し後の確保方策の考え方】

【当初計画】

・【1号】及び【2号】(教育ニーズ)の量の見込みに対して、確保方策が不足する地域があるが、全市域的には確保方

策が量の見込みを上回っていることから、他の地域の確保方策により補完されることが見込まれる。 ・【2号】及び【3号】の量の見込みに対して、確保方策が不足する地域については、確保必要数として各年度に示す 数を教育・保育施設により確保することとする。

・国の子ども・子育て支援事業計画基本指針に基づき、令和4年度までの量の見込みに対応する教育・保育施設を 令和2年度末までに前倒しして確保を図ることとする。

【見直しに当たっての算出の考え方】

**だらして、アンドログライン は、全市域的には確保方策が量の見込みを上回っていることから、他の区域の確保方策により補完されることが見込まれるが、区域の状況に応じて対応することとする。
・【2号】及び【3号】の量の見込みに対して、確保方策が不足する区域については、確保必要数として各年度に示す数を教育・保育施設及び地域型保育事業により確保することとする。また、それ以外の区域についても、必要に応じ て対応することとする。

【見直し後の確保必要数の確保に当たっての考え方】

【当初計画】

- 確保必要数は、【2号】、【3号(0歳)】、【3号(1・2歳)】の過不足の合計により算出することとし、新たに確保する数 は、【2号】、【3号(0歳)】、【3号(1·2歳)】を均等に設定することとする。

就学前児童数が減少していく見込みであることや、施設整備には一定の期間を要すること、また保育士等の確保が 困難となっている現状を踏まえ、既存施設の活用を優先することとする。

確保必要数の確保の手法

量の見込みに対し、確保方策が不足する場合にあっては、原則として以下のア~ウにより優先的に確保を図ることと し、補完できなかった場合、エーキによる整備手法を検討し、確保を図ることとする。 ア 幼稚園から幼保連携型認定こども園への移行による定員増

- イ保育所・幼保連携型認定こども園の定員増
- ウ 保育所から定員増を伴う幼保連携型認定こども園への移行
- エ 幼稚園の増築等による幼保連携型認定こども園への移行
- オ保育所・幼保連携型認定こども園の増築等による定員増 カ保育所の増築等により定員増を伴う幼保連携型認定こども園への移行
- キ 新設保育所・幼保連携型認定こども園の整備

・確保必要数は、【2号】、【3号(0歳)】、【3号(1・2歳)】の過不足から、それぞれ算出することとする。

市全体では就学前児童数は減少傾向にあるものの、区域によっては、保育利用率の上昇がみられることから、既 存施設の活用を基本としつつも、必要に応じて、保育所等の整備による対応を図る。

量の見込みに対し、確保方策が不足する場合にあっては、以下のアーウにより確保を図ることを基本としつつ、必要に応じて、エークによる整備手法により確保を図ることとする。 ア 幼稚園から幼保連携型認定こども園への移行による定員増

- イ 保育所・認定こども園の定員増
- 保育所から定員増を伴う幼保連携型認定こども園への移行

- エ 幼稚園の増築等による幼保連携型認定こども園への移行オ 保育所・幼保連携型認定こども園の増築等による定員増カ 保育所の増築等により定員増を伴う幼保連携型認定こども園への移行
- キ 新設保育所・幼保連携型認定こども園の整備
- 地域型保育事業の整備

(単位・人)

## 2 2 2 2 2 3 3 3 3 3											(単位:人)
1					+2号		ーズ)		2号認定Ⅎ	-3号認定	
### 20 見込み (1) 計画					1号(A)			2号(C)	3号	(D)	
					3~5歳		(A) + (B)	3~5歳	O歳	1~2歳	(C)+(D)
(4				①計画	401	45	446	308	27	195	530
2 年 (日)				②実績	302	162	464	341	26	132	499
2			LAJ	③差(②-①)	△ 99	117	18	33	Δ1	△ 63	△ 31
年度度 [B] (金素信)-(4) (117) 117 (0) 人 30 人 6 人 2 人 5 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)				④ 計画	498	45	543	385	96	214	695
度 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日		2		⑤実績	381	162	543	355	90	212	657
(B) - (A)			101	⑥差(⑤-④)	△ 117	117	0	△ 30	△ 6	Δ2	△ 38
度保必要数 の実務 の実務 の実務 の実務 の実務 の実務 の実務 の実務 のま物 のま物 のま物 のま物 のま物 のま物 のま物 のまか の		度	[D]_[A]	⑦計画(④-①)	97	0	97	77	69	19	165
確保必要数 (中美館 ー 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			נטן נטן		79	0	79	14	64	80	158
画の見込み 1						-		-	-	-	-
			確保必要数			-		0	0	0	0
□ 日本				①差(①-⑨)		_		0	0	0	0
(A)			豊の目込み		412	46	458	324	27	204	555
(本)											487
(様) 子供 (B)											△ 68
接きまります。			確保方等								695
日本											674
(B) - (A)	• ===										△ 21
(個保必要数 105 0 105 27 76 84 11 11 11 11 11 11 11		芨	[B]-[A]								140
確保必要数 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	ТШ		N=2 N, 12		105		105	27	76	84	187
日本の見込み								_	_	-	_
日			確保必要数								0
型の見込み (A)					,				_		0
(A)			量の見込み								559
## 存				_							464
年度		,									△ 95
Fe			確保方策								695
[B] - [A] ⑦計画(②-①) 92 0 92 58 70 8 11 11 2			(B)								683
B] - [A]			確保万策 【B】 【B】-【A】								136
では			[B]-[A]								219
確保必要数 (①実績 (①)差(⑪〜③) - 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0					140		143				
(用差(印-⑨) - 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				-							0
□ 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日						_		0	0	0	0
□ 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日				0 - 0	406	45	451				559
日本					230	155	385	321	24	140	485
原して			[A]								△ 74
□□ し			Th /0 -1- /-				543	385	96	214	695
年度度 [B]-[A] (高差(⑤-④)	直	5			398		553	364	91	228	683
の 見	後	年	[5]		△ 100	110	10	△ 21	△ 5	14	△ 12
□ (日本の)		度	[B]_[A]		92	0	92	58	70	8	136
Red (Red の	里		[D] -[V]	8見直し後(⑤-②)	168	0	168	43	67	88	198
及び確保	0										
及び確保	見		確保必要数								
及び確保	とみ										
び 確 保	及		量の見込み								559
確保 (保 方 策 度 度 (B) - (A) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B	び										467
策 度 (B) (高差(5)-④)	確										△ 92
策 度 (B) (高差(5)-④)			確保方策								695
(B)-(A) ⑦計画(④-①) 92 0 92 58 70 8 1; (B)-(A) ②計画(⑥-②) 202 0 202 63 67 86 2 (B) 計画(⑥-⑤) ①見直し後(⑥-⑥) ①見直し後(⑥-⑥) ○ <	第										683
(B) - (A) (B) - (B) (B) (B) - (B)		坟									△ 12
	案		[B]-[A]	-							136
確保必要数					202	U	202	03	07	80	216
①差(⑩-⑨)			確 促心 亜粉								
			HE 体必女奴								
				UDE (UD-UD)						(冬年帝	1日1日時占)

見直し後の確保必要数 0

《令和5・6年度の確保方策および確保必要数について》

◎確保方策について

・5年度からの年齢別利用調整開始を踏まえ、4年度に行った各認定区分間の定員変更調査の結果につい て、5年度以降の確保方策に反映している。

◎確保必要数について

・確保必要数については、6年度で量の見込みを上回る確保方策が見込まれることから、特段の対応を要し ない。

^{※6}年度に見込まれる不足数を解消するために必要な数

							(単位:人)				
				+2号	1号認定 ·認定(教育二	ーズ)		2号認定+	-3号認定		
				1号(A)	2号(B) (教育ニーズ)	合計 (A)+(B)	2号(C)	3号		合計 (C)+(D)	
				3~5歳	3~5歳		3~5歳	O歳	1~2歳		
		量の見込み	①計画 ② ***	300	85	385	564	30	343	937	
		[A]	②実績	211	141	352	553	42	330	925	
			③差(②-①)	△ 89	56	△ 33	Δ 11	12	Δ 13	△ 12	
		確保方策	④計画	285	85	370	551	120	315	986	
	2	[B]	⑤実績	229	141	370	531	113	302	946	
	年度		⑥差(⑤-④)	△ 56	56	0	△ 20	△ 7	△ 13	△ 40	
	反	[B]-[A]	⑦計画(④-①)	△ 15	0	△ 15	△ 13	90	△ 28	49	
			8実績(⑤-②)	18	0	18	△ 22	71	△ 28	21	
		70000 西米	9計画					_	_		
		確保必要数	⑪実績		-		0	0	0	0	
	Н		①差(⑩-⑨)	004		077	0	0	0		
		量の見込み	①計画 ②実績	294	83	377	559	29	340	928	
点		[A]		226	122	348	571	33	331	935	
検			③差(②-①)	△ 68	39	△ 29	12	4	△ 9	7	
-	3	確保方策	<u>④計画</u> ⑤実績	287 245	83 122	370 367	551 526	120 113	315 297	986 936	
評価	年	[B]	⑥差(⑤-④)	△ 42	39	∆ 3	△ 25		∆ 18	△ 50	
価	度	[B]-[A]	⑦計画(④-①)	Δ7	0	Δ7	△ 8	91	△ 25	58	
		157 177	8実績(5-2)	19	0	19	△ 45	80	△ 34	1	
		確保必要数	<u>⑨計画</u> ⑩実績				0	0	0		
		唯体心安奴	① 美恨 (10-9)		_		0	0	0	0	
		豊の目は ね	①計画	289	81	370	556	27	339	922	
		重の見込み 【A】 確保方策	②実績	242	102	344	554	32	330	916	
	4	L	③差(②-①)	△ 47	21	△ 26	<u>∆ 2</u>	5	△ 9	<u>∆ 6</u>	
	年	軍の見込み 【A】 確保方策 【B】 【B】 【B】 【 C B】 C B】	(4)計画 (5)実績	289 250	81 102	370 352	551 526	120 113	315 297	986 936	
	度		⑥差(⑤-④)	△ 39	21	∆ 18	△ 25	△ 7	<u>∠37</u>	△ 50	
			⑦計画(④-①)	0	0	0	△ 5	93	△ 24	64	
		152 17.2	8実績(⑤-②)	8	0	8	△ 28	81	△ 33	20	
		確保必要数	9計画 10実績				_		_	0	
		11 P 12 D 27 D	①差(⑩-⑨)		-		0	0	0	0	
		豊の日37	①計画	289	81	370	556	27	339	922	
		量の見込み 【A】	②見直し後	241	102	343	568	36	341	945	
		17.02	③差(②-①)	△ 48	21	△ 27	12	9	2	23	
見直		確保方策	④計画	289	81	370	551	120	315	986	
坦し	5	唯体万束 【B】	⑤見直し後	250	102	352	551	96	289	936	
後	年		⑥差(⑤-④)	△ 39	21	△ 18	0	△ 24	△ 26	△ 50	
の	度	[B]-[A]	⑦計画(④-①)	0	0	0	△ 5	93	△ 24	64	
量			8見直し後(⑤-②)	9	0	9	△ 17	60	△ 52	△ 9	
の見			9計画								
込		確保必要数	⑪見直し後								
み			①差(⑪-⑨)								
及		量の見込み	①計画	289	81	370	556	27	339	922	
びか		[A]	②見直し後	248	104	352	598	37	331	966	
確保			③差(②-①)	△ 41	23	△ 18	42	100	△ 8	44	
	6 年	確保方策	④計画 ⑤見直し後	289 248	81	370	551 551	120	315	986	
方策(中度	[B]	⑤兒旦し伎 ⑥差(⑤-④)	248 △ 41	104 23	352 △ 18	0	96 △ 24	289 △ 26	936 △ 50	
	,'X		⑦計画(④-①)	0	0	Δ 18 0	0 △ 5	93	△ 26 △ 24	<u> </u>	
案		[B]-[A]	(グ計画(4)-(1)) 8見直し後(5-2)	0	0	0	△ 5 △ 47	59	△ 42	△ 30	
			9計画	U	U	U	<u> </u>	39	△ 42	△ 30	
		確保必要数	⑪見直し後								
		#EI小心女双	⑪先直し後 (⑪-⑨)								
			W = (W - W)						/友左由	1月1日時点)	

(各年度4月1日時点)

見直し後の確保必要数	_	50	0	50	100

※6年度に見込まれる不足数を解消するために必要な数

《令和5・6年度の確保方策および確保必要数について》

◎確保方策について

・5年度からの年齢別利用調整開始を踏まえ、4年度に行った各認定区分間の定員変更調査の結果について、5年度以降の確保方策に反映している。

- ・確保必要数については、6年度で量の見込みに対する確保方策の不足が解消される数を確保する。
- ・確保の手法については、既存施設を活用した定員増を基本としつつも、必要に応じて、保育所等の整備による対応を図る。

							(単位:人)				
				+2号	1号認定 ·認定(教育二	ーズ)	2号認定+3号認定				
				1号(A)	2号(B) (教育ニーズ)	合計	2号(C)	3号	(D)	合計	
				3~5歳	3~5歳	(A)+(B)	3~5歳	O歳	1~2歳	(C)+(D)	
			1計画	1,055	246	1,301	1,223	108	857	2,188	
		量の見込み 【A】	②実績	898	432	1,330	1,257	98	834	2,189	
		101	③差(②-①)	△ 157	186	29	34	△ 10	△ 23	1	
			4計画	1,634	246	1,880	1,144	326	766	2,236	
	2	確保方策	⑤実績	1,413	432	1.845	1,129	326	766	2.221	
	年	(B)	⑥差(⑤-④)	△ 221	186	△ 35	△ 15	0	0	△ 15	
	度		⑦計画(④-①)	579	0	579	△ 79	218	△ 91	48	
		[B]-[A]	8実績(⑤-②)	515	0	515	△ 128	228	△ 68	32	
			9計画	010	_	0.10					
		確保必要数	⑩実績		_		0	0	0	0	
		HE IA 20' 又 纵	①美(10-9)				0	0	0	0	
			①計画	1,011	005	1.046	1,219	106		2,202	
		量の見込み	②実績		235	1,246			877		
L		[A]		837	427	1,264	1,259	73	769	2,101	
点			③差(②-①)	△ 174	192	18	40	△ 33	△ 108	△ 101	
検・	2	確保方策	4計画	1,645	235	1,880	1,144	326	766	2,236	
評	3 年	[B]	⑤実績 ⑥ 苯 (⑤ (೧)	1,433	427	1,860	1,130	341	790	2,261	
価	生度		⑥差(⑤-④)	△ 212	192	△ 20	△ 14	15	24	25	
,,,,,,	, <u>x</u>	[B]-[A]	⑦計画(④-①)	634	0	634	△ 75	220	Δ 111	34	
			8実績(⑤-②)	596	0	596	△ 129	268	21	160	
		75 /D 3/ 3F #L	9計画		_		_	-	1	_	
		確保必要数	⑪実績				0	0	0	0	
			①差(⑩-⑨)	956	222	1,178	0 1,199	0 104	0 890	2,193	
		量の見込み	①計画 ②実績	791	422	1,176	1,199	88	757	2,193	
		[A]	③差(②-(1))	△ 165	200	35	1,213	∆ 16	△ 133	△ 135	
	4	確保方策	4計画	1,658	222	1,880	1,144	326	766	2,236	
	年	III III III III III III III III III II	⑤実績	1,383	422	1,805	1,115	339	783	2,237	
	度	101	⑥差(⑤-④)	△ 275	200	△ 75	△ 29	13	17	1	
		[B]-[A]	⑦計画(4-1) 8実績(5-2)	702 592	0	702 592	△ 55 △ 98	222 251	△ 124 26	43 179	
			9計画	392	-	392		-		- 179	
		確保必要数	⑩実績							0	
			⑪差(⑩-⑨)		-		0	0	0	0	
		量の見込み	①計画	956	222	1,178	1,199	104	890	2,193	
		I (A)	②見直し後	737	393	1,130	1,146	96	788	2,030	
B			③差(②-①)	△ 219	171	△ 48	△ 53	△ 8	△ 102	△ 163	
見直		確保方策	④計画	1,658	222	1,880	1,144	326	766	2,236	
旦	5	唯保力束 【B】	⑤見直し後	1,412	393	1,805	1,152	328	757	2,237	
後	年		⑥差(⑤-④)	△ 246	171	△ 75	8	2	△ 9	1	
_o	度	[B]-[A]	⑦計画(④-①)	702	0	702	△ 55	222	△ 124	43	
量		TPJ - [W]	8見直し後(⑤-②)	675	0	675	6	232	△ 31	207	
の			9計画								
見		確保必要数	⑪見直し後								
込			①差(①-⑨)								
み			①計画	956	222	1,178	1,199	104	890	2,193	
及び		量の見込み	②見直し後	706	377	1,083	1,113	94	760	1,967	
確		[A]	③差(②-①)	△ 250	155	△ 95	△ 86	Δ 10	△ 130	△ 226	
保	6	_,	<u>④</u> 計画	1,658	222	1,880	1,144	326	766	2,236	
方	年	確保方策	⑤見直し後	1,428	377	1,805	1,152	328	757	2,237	
策	度	[B]	⑥差(⑤-④)	△ 230	155		8	2	△ 9	1	
			⑦計画(4)-①)	702	0	702	△ 55	222	△ 124	43	
案		[B]-[A]	8見直し後(⑤-②)	722	0	722	39	234	△ 3	270	
			9計画	122	0	, 22	- 00	204	1	270	
		確保必要数	⑪見直し後								
		#EI小心女戏	⑪先旦し後 (⑪-⑨)								
			wæ (w w)						(久年亩	4月1日時点)	
									(百十尺)	プロロ时尽力	

見直し後の確保必要数 - 0 0 10 10

※6年度に見込まれる不足数を解消するために必要な数

《令和5・6年度の確保方策および確保必要数について》

◎確保方策について

・5年度からの年齢別利用調整開始を踏まえ、4年度に行った各認定区分間の定員変更調査の結果について、5年度以降の確保方策に反映している。

- ・確保必要数については、6年度で量の見込みに対する確保方策の不足が解消される数を確保する。
- ・確保の手法については、既存施設を活用した定員増を基本としつつも、必要に応じて、保育所等の整備に よる対応を図る。

					1号認定		2号認定+3号認定			
				+2号	認定(教育二	ーズ)		25部疋	ト3 写認正	
				1号(A) 3~5歳	2号(B) (教育ニーズ) 3~5歳	合計 (A)+(B)	2号(C) 3~5歳	3号 0歳	(D) 1~2歳	合計 (C)+(D)
		量の見込み	①計画	520	85	605	475	54	341	870
		■ UR込み 【A】	②実績	382	231	613	495	34	363	892
			③差(②-①)	△ 138	146	8	20	△ 20	22	22
		確保方策	④計画	1,116	85	1,201	409	125	311	845
	2	(B)	⑤実績	970	231	1,201	388	119	298	805
	年度		⑥差(⑤-④)	△ 146	146	0	△ 21	△ 6	△ 13	△ 40
		[B]-[A]	⑦計画(④-①) ⑧実績(⑤-②)	596 588	0	596 588	△ 66 △ 107	71 85	△ 30 △ 65	△ 25 △ 87
			9計画	300	_	300	15	5	10	30
		確保必要数	⑩実績		_		16	2	12	30
		11 P 11 D 21 21	①差(⑩-⑨)		-		1	△ 3	2	0
		80574	①計画	496	81	577	471	55	346	872
		量の見込み 【A】	②実績	357	257	614	502	40	349	891
点			③差(②-①)	△ 139	176	37	31	△ 15	3	19
検		確保方策	④計画	1,120	81	1,201	424	130	321	875
· 評	3	唯体力束 【B】	⑤実績	914	257	1,171	399	121	308	828
一個	年度		⑥差(⑤-④)	△ 206	176	△ 30	△ 25	△ 9	△ 13	△ 47
	/2	[B]-[A]	⑦計画(④-①)	624	0	624	△ 47	75	△ 25	3
			8実績(⑤-②)	557	_ 0	557	△ 103	81	△ 41	△ 63
		確保必要数	9計画 ⑩実績				0	0	- 0	0
			①差(①-⑨)		-		0	0	0	0
		量の見込み	①計画	473	77	550	468	56	352	876
		[A]	②実績 3差(②-①)	308 △ 165	270 193	578 28	487 19	21 △ 35	305 △ 47	813
	4	T#: /12	(4)計画	1,124	77	1,201	424	130	321	△ 63 875
	年	確保方策 【B】	⑤実績	901	270	1,171	394	119	305	818
	度		⑥差(⑤-④) ⑦計画(④-①)	△ 223 651	193 0	△ 30 651	△ 30 △ 44	△ 11 74	△ 16 △ 31	△ 57 △ 1
		[B]-[A]	8実績(5-2)	593	0	593	△ 44 △ 93	98	0	5
		T-10 N T-11	9計画		-		_	-	-	-
		確保必要数	①実績 ①差(⑩-⑨)		_		0	0	0	0
	Н	_	1計画	473	77	550	468	56	352	876
		量の見込み	②見直し後	286	250	536	467	22	313	802
		[A]	③差(②-①)	△ 187	173	△ 14	Δ1	△ 34	△ 39	△ 74
見直		確保方策	④計画	1,124	77	1,201	424	130	321	875
世し	5	唯体万束 【B】	⑤見直し後	921	250	1,171	429	103	286	818
後	年		⑥差(⑤-④)	△ 203	173	△ 30	5	△ 27	△ 35	△ 57
<u>ი</u>	度	[B]-[A]	⑦計画(④-①)	651	0	651	△ 44	74	△ 31	Δ1
量の			8見直し後(5-2) 9計画	635	0	635	△ 38	81	△ 27	16
見		確保必要数	⑪見直し後							
込		唯体心女奴	⑪先直に後 (⑪-⑨)							
み	Н		①計画	473	77	550	468	56	352	876
及び		量の見込み	②見直し後	278	244	522	470	20	287	777
確		[A]	③差(②-①)	△ 195	167	△ 28	2	△ 36	△ 65	△ 99
保	6	確保方策	④計画	1,124	77	1,201	424	130	321	875
方策	年	惟馀万束 【B】	⑤見直し後	927	244	1,171	429	103	286	818
不	度		⑥差(⑤-④)	△ 197	167	△ 30	5	△ 27	△ 35	△ 57
案		[B]-[A]	⑦計画(4-1)	651	0	651	△ 44	74	△ 31	<u>△</u> 1
			8見直し後(⑤-②)	649	0	649	△ 41	83	Δ1	41
		確保必要数	⑨計画 ⑩見直し後							
		#性/水必安奴	⑪兒直し後 (⑪-⑨)							
									(各年度	4月1日時点)
									~	

見直し後の確保必要数 50 0 10 60

※6年度に見込まれる不足数を解消するために必要な数

《令和5・6年度の確保方策および確保必要数について》

◎確保方策について

・5年度からの年齢別利用調整開始を踏まえ、4年度に行った各認定区分間の定員変更調査の結果につい て、5年度以降の確保方策に反映している。

- ・確保必要数については、6年度で量の見込みに対する確保方策の不足が解消される数を確保する。
- ・確保の手法については、既存施設を活用した定員増を基本としつつも、必要に応じて、保育所等の整備に よる対応を図る。

							(単位:人)				
				+2号	1号認定 ·認定(教育二	ーズ)		2号認定Ⅎ	├3号認定		
				1号(A)	2号(B) (教育ニーズ)	合計 (A)+(B)	2号(C)	3号		合計 (C)+(D)	
_				3~5歳	3~5歳		3~5歳	O歳	1~2歳		
		量の見込み	①計画	489	242	731	883	64	542	1,489	
		I EO完成の	②実績	471	255	726	840	51	560	1,451	
			③差(②-①)	△ 18	13	△ 5	△ 43	△ 13	18	△ 38	
		確保方策	④計画	720	242	962	712	218	495	1,425	
	2	III III III III III III III III III II	⑤実績	707	255	962	712	220	499	1,431	
	年		⑥差(⑤-④)	△ 13	13	0	0	2	4	6	
	度	[B]-[A]	⑦計画(4-1)	231	0	231	△ 171	154	△ 47	△ 64	
			8実績(5-2)	236	0	236	△ 128	169	△ 61	△ 20	
			9計画		_		60	7	33	100	
		確保必要数	⑪実績		_		15	7	18	40	
			⑪差(⑩-⑨)		_		△ 45	0	△ 15	△ 60	
		量の見込み	1計画	464	229	693	899	63	541	1,503	
		I EU兄込の 【A】	②実績	459	284	743	853	50	531	1,434	
点			③差(②-①)	△ 5	55	50	△ 46	△ 13	Δ 10	△ 69	
検		確保方策	④計画	733	229	962	772	225	528	1,525	
· ===	3	唯保万束 【B】	⑤実績	554	284	838	727	233	526	1,486	
評価	年		⑥差(⑤-④)	△ 179	55	△ 124	△ 45	8	Δ2	△ 39	
Ш	度	[B]-[A]	⑦計画(④-①)	269	0	269	△ 127	162	△ 13	22	
		107 147	8実績(⑤-②)	95	0	95	△ 126	183	△ 5	52	
			9計画		-		_	_			
		確保必要数	⑩実績		_		11	3	6	20	
			①差(⑪-⑨)	440	- 010	050	11	3	6 E42	20	
		量の見込み	①計画 ②実績	440 444	218 262	658 706	920 843	63 57	543 515	1,526 1,415	
		[A]	③差(②-①)	444	44	48	∆ 77	∆ 6	△ 28		
	4	確保方策	④計画	744	218	962	772	225	528	1,525	
	年	[B] [B] [B]	⑤実績	582	262	844	733	237	535	1,505	
	度		⑥差(⑤-④) ⑦計画(④-①)	△ 162 304	44 0	△ 118 304	△ 39 △ 148	12 162	7 △ 15	△ 20 △ 1	
		[B]-[A]	8実績(5-2)	138	0	138	Δ 148 Δ 110	180	20	90	
			9計画	. 30	-			-	-	_	
		確保必要数	⑩実績							0	
			①差(⑩-⑨)	4.00	- 010	0.50	0	0	0	1.500	
		量の見込み	①計画 ②見直し後	440	218	658	920	63	543	1,526	
		[A]		411	243	654	804	59	501	1,364	
見			③差(②-①)	△ 29	25	△ 4	△ 116	<u>△</u> 4	△ 42	△ 162	
直	_	確保方策	④計画 ⑥目志L 後	744	218	962	772	225	528	1,525	
し	5 年	[B]	⑤見直し後 ⑥差(⑤)-④)	601 △ 143	243 25	844	758 △ 14	218 △ 7	529	1,505 △ 20	
後	年 度				0	△ 118			1 A 15		
の量	及	[B]-[A]	⑦計画(④-①) 8見直し後(⑤-②)	304 190	0	304 190	△ 148 △ 46	162 159	△ 15 28	<u>△ 1</u>	
重の			(9)計画	190	0	190	△ 46	159	28	141	
見		確保必要数	10見直し後								
込		唯体心安数									
み	\vdash		①差(⑩-⑨)	440	218	658	920	63	543	1,526	
及		量の見込み	①計画 ②見直し後	379	218		762	58	491		
びた		[A]	③差(②-①)	△ 61	5	602 △ 56			491 △ 52	1,311 △ 215	
確保			(4)計画	744	218	962	772	225	528	1,525	
方	6 年	確保方策	(多計画) (多見直し後)	621	218	844	772	225	528	1,525	
方策(世度	(B)	③兒直し後 ⑥差(⑤-④)	△ 123	5	∆ 118			1		
	^_		⑦計画(④-①)	304	0	304	△ 148	162		△ 20 △ 1	
案		[B]-[A]	(グ)計画(4)-(1)/ (8)見直し後(5)-(2)/	242	0	242	△ 148 △ 4	162	38	194	
			9計画	242	U	242	△ 4	100	38	194	
		確保必要数	10見直し後								
		唯体心安数	□児里し後 ① 差(⑩-⑨)								
			W左(W-3)						(久年度	4月1日時点)	
									(台平皮)	+月 1 日 时 尽 /	

見直し後の確保必要数 10

※6年度に見込まれる不足数を解消するために必要な数

《令和5・6年度の確保方策および確保必要数について》

◎確保方策について

・5年度からの年齢別利用調整開始を踏まえ、4年度に行った各認定区分間の定員変更調査の結果につい て、5年度以降の確保方策に反映している。

- ・確保必要数については、6年度で量の見込みに対する確保方策の不足が解消される数を確保する。 ・確保の手法については、既存施設を活用した定員増を基本としつつも、必要に応じて、保育所等の整備に よる対応を図る。

										(単位:人)
				+2号	1号認定 ·認定(教育二	ーズ)		2号認定+	-3号認定	
				1号(A)	2号(B) (教育ニーズ)	合計 (A)+(B)	2号(C)	3号	(D)	合計 (C)+(D)
				3~5歳	3~5歳	(71)	3~5歳	O歳	1~2歳	(0) 1 (0)
		量の見込み	①計画	994	298	1,292	1,312	114	867	2,293
		I EU兄込の 【A】	②実績	871	402	1,273	1,330	88	794	2,212
		L	③差(②-①)	△ 123	104	△ 19	18	△ 26	△ 73	△ 81
		確保方策	④計画	1,578	298	1,876	1,106	330	705	2,141
	2	I唯体力束 【B】	⑤実績	1,404	402	1,806	1,080	328	701	2,109
	年		⑥差(⑤-④)	△ 174	104	△ 70	△ 26	△ 2	△ 4	△ 32
	度	[B]-[A]	⑦計画(④-①)	584	0	584	△ 206	216	△ 162	△ 152
		152 1/12	8実績(5-2)	533	0	533	△ 250	240	△ 93	△ 103
			9計画		_		85	28	57	170
		確保必要数	⑩実績		_		19	24	47	90
			①差(①-⑨)				△ 66	△ 4	△ 10	△ 80
		量の見込み	①計画	959	287	1,246	1,305	111	885	2,301
		I EURLON 【A】	②実績	816	424	1,240	1,264	94	806	2,164
点			③差(②-①)	△ 143	137	Δ 6	△ 41	△ 17	△ 79	△ 137
検		確保方策	④計画	1,589	287	1,876	1,191	358	762	2,311
- π	3	I唯体力束 【B】	⑤実績	1,331	424	1,755	1,094	349	742	2,185
評価	年		⑥差(⑤-④)	△ 258	137	△ 121	△ 97	△ 9	△ 20	△ 126
тш	戊	[B]-[A]	⑦計画(④-①)	630	0	630	△ 114	247	△ 123	10
		101 1/1	8実績(5-2)	515	0	515	△ 170	255	△ 64	21
			9計画				-	_	-	_
		確保必要数	⑪実績		-		0	0	0	0
			⑪差(⑩-⑨) ①計画	923	- 276	1,199	0 1,297	0 110	906	0 2,313
		量の見込み	②実績	739	444	1,183	1,189	79	785	2,053
		[A]	③差(②-①)	△ 184	168	△ 16	△ 108	△ 31	△ 121	△ 260
	4	確保方策	<u>4計画</u>	1,600	276	1,876	1,191	358	762	2,311
	年度	(B)	⑤実績 ⑥差(⑤-④)	1,281 △ 319	444 168	1,725 △ 151	1,094 △ 97	355	749	2,198
	反	7-3 7.3	⑦計画(④-①)	677	0	△ 151 677	△ 106	<u>△</u> 3	△ 13 △ 144	△ 113 △ 2
		【B】-【A】 確保必要数	8実績(⑤-②)	542	0	542	△ 95	276	△ 36	145
		確保必要数	9計画	_			-	-	-	_
		確保必要数	①実績				0			0
\vdash			⑪差(⑩-⑨) ①計画	923	276	1,199	1,297	0 110	906	2,313
		量の見込み	②見直し後	703	422	1,125	1,153	84	810	2,047
		[A]	③差(②-①)	△ 220	146	1,125 △ 74	1,103 △ 144	△ 26	△ 96	△ 266
見			(4)計画	1,600	276	1.876	1.191	358	762	2.311
直	_	確保方策	⑤見直し後	1,303	422	1,725	1,153	298	747	2,198
L	5 年	[B]	6差(5-4)	1,303 △ 297	146		1,133 △ 38	△ 60		△ 113
後の	度		⑦計画(4-1)	677	0	677	△ 106	248	△ 144	△ 113
量		[B]-[A]	8見直し後(⑤-②)	600	0	600	0	214	△ 63	151
の			9計画	000	0	000	- 0	217	<u> </u>	101
見		確保必要数	⑪見直し後							
込		AE 101-20-30-30	①差(⑩-⑨)							
み			①計画	923	276	1,199	1,297	110	906	2,313
及 び		量の見込み	②見直し後	702	422	1,124	1,174	82	786	2,042
確		[A]	③差(②-①)	△ 221	146	△ 75	△ 123	△ 28	△ 120	△ 271
保	6		④ 注() () / () () () () () () () () (1,600	276	1,876	1,191	358	762	2,311
方	年	確保方策	⑤見直し後	1,303	422	1,725	1,153	298	747	2,198
策	度	[B]	⑥差(⑤-④)	△ 297	146	△ 151	∆ 38	△ 60	△ 15	△ 113
		r_1	⑦計画(4-1)	677	0	677	△ 106	248	△ 144	△ 110
案		[B]-[A]	8見直し後(⑤-②)	601	0	601	△ 21	216	△ 39	156
			9計画	031	U			2.0	_ 30	.30
		確保必要数	⑪見直し後							
		#正[小心]女奴	⑪羌匠(後 ① 一 ②)							
			UE (W-W)						(A b t	1日1日時占)

(各年度4月1日時点)

見直し後の確保必要数 - 30 0 40 70

※6年度に見込まれる不足数を解消するために必要な数

《令和5・6年度の確保方策および確保必要数について》

◎確保方策について

・5年度からの年齢別利用調整開始を踏まえ、4年度に行った各認定区分間の定員変更調査の結果について、5年度以降の確保方策に反映している。

◎確保必要数について

・確保必要数については、6年度で量の見込みに対する確保方策の不足が解消される数を確保する。

・確保の手法については、既存施設を活用した定員増を基本としつつも、必要に応じて、保育所等の整備による対応を図る。

(単位:人)										
			+2号	1号認定 ·認定(教育二	.ーズ)		2号認定-	+3号認定		
			1号(A)	2号(B)	合計	2号(C)	3무	·(D)	合計	
			3~5歳	(教育ニーズ) 3~5歳	(A)+(B)	3~5歳	0歳	1~2歳	(C)+(D)	
Т		①計画	946	124	1,070	1,267	142	910	2,319	
	量の見込み 【A】	②実績	632	364	996	1,318	122	899	2,339	
	LAI	③差(②-①)	△ 314	240	△ 74	51	△ 20	△ 11	20	
	7th /17 -1- frits	4計画	926	124	1,050	1,213	349	744	2,306	
2	確保方策 【B】	⑤実績	686	364	1,050	1,230	350	756	2,336	
年	E	⑥差(⑤-④)	△ 240	240	0	17	1	12	30	
厚	[B]-[A]	⑦計画(④-①)	△ 20	0	△ 20	△ 54	207	△ 166	△ 13	
	LDJ LAJ	8実績(⑤-②)	54	0	54	△ 88	228	△ 143	△ 3	
		9計画		-		60	20	40	120	
	確保必要数	⑩実績		-		0	0	0	0	
L		①差(①-⑨)		-		△ 60	△ 20	△ 40	△ 120	
	量の見込み	①計画	933	122	1,055	1,277	145	951	2,373	
	[A]	②実績	608	349	957	1,318	103	852	2,273	
点		③差(②-①)	△ 325	227	△ 98	41	△ 42	△ 99	△ 100	
検	確保方策	4計画中株	928	122	1,050	1,273	369	784	2,426	
・ 3 評 年) [B]	⑤実績 ⑥	701	349	1,050	1,205	354	762	2,321	
評 节		⑥差(⑤-④)	△ 227	227	0	△ 68	△ 15	△ 22	△ 105	
د/ اس	[B]-[A]	⑦計画(④-①)	△ 5	0	△ 5	△ 4	224	△ 167	53	
		8実績(5-2)	93	0	93	△ 113	251	△ 90	48	
	確保必要数	9計画 ⑩実績				0	0	- 0	0	
	FE 体 20 女 30	①美根		_		0	0		0	
	豊の目37.	①計画	917	120	1,037	1,283	149	997	2,429	l
	量の見込み 【A】	②実績	578	352	930	1,367	110	841	2,318	Г
		③差(②-①)	△ 339	232	△ 107	84	△ 39	△ 156	Δ 111	
4 年		④計画 ⑤実績	930	120 352	1,050 1.050	1,273	369	784 773	2,426	
月月		③美根 ⑥差(⑤-④)	698 △ 232	232	1,030	1,185 △ 88	359 △ 10		2,317 △ 109	
ľ	1	⑦計画(4)-(1)	13	0	13	△ 10	220	△ 213	△ 3	
	[B]-[A]	8実績(5-2)	120	0		△ 182	249	△ 68	Δ1	
	確保必要数	9計画		_		_	_	_	_	
	唯保必要致	①実績 ①差(①-②)		_		0	0	0	0	
十	<u> </u>	1)計画	917	120	1,037	1,283	149	997	2,429	
	量の見込み	②見直し後	544	332	876	1,398	116	863	2.377	
	[A]	③差(②-①)	△ 373	212	△ 161	115	△ 33	△ 134	△ 52	7
見	T#1/2 #*	4計画	930	120	1,050	1,273	369	784	2,426	
直	│ 確保方策 │ 【B】	⑤見直し後	718	332	1,050	1,230	320	767	2,317	
6 日	E	⑥差(⑤-④)	△ 212	212	0	△ 43	△ 49	△ 17	△ 109	
の原	[P]_[A]	⑦計画(④-①)	13	0	13	△ 10	220	△ 213	△ 3	
a	[B]-[A]	8見直し後(⑤-②)	174	0	174	△ 168	204	△ 96	△ 60	
ク		9計画								
見	確保必要数	⑪見直し後								
込 み ー		①差(①-⑨)								
及	量の見込み	①計画	917	120	1,037	1,283	149	997	2,429	
ゾ	I (A)	②見直し後	505	308	813	1,389	115	873	2,377	
隺		③差(②-①)	△ 412	188	△ 224	106	△ 34	△ 124	△ 52	
果 6	確保方策	4計画	930	120	1,050	1,273	369	784	2,426	
方策([B]	⑤見直し後	742	308	1,050	1,230	320	767	2,317	
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	`	⑥差(⑤-④)	△ 188	188	0	△ 43	△ 49	△ 17	△ 109	
案	[B]-[A]	⑦計画(④-①)	13	0	13	△ 10	220	△ 213	△ 3	
◎児直∪按(③~②)		237	0	237	<u>△ 159</u>	205	<u> </u>	△ 60		
		(1) 左(1(1) -(9))						(タ年中	4月1 <u>日時点)</u>	
								(台平及	+刀 口时从/	_:
	見直し後の確	俘 必要数				160	0	110	270	
	元旦し仮切唯	小心女 双				100	U	110	210	Ī

※6年度に見込まれる不足数を解消するために必要な数

《令和5・6年度の確保方策および確保必要数について》

◎確保方策について

・5年度からの年齢別利用調整開始を踏まえ、4年度に行った各認定区分間の定員変更調査の結果について、5年度以降の確保方策に反映している。

- ・確保必要数については、6年度で量の見込みに対する確保方策の不足が解消される数を確保する。
- ・確保の手法については、既存施設を活用した定員増を基本としつつも、必要に応じて、保育所等の整備による対応を図る。

										(単位:人)
				+2号	1号認定 ·認定(教育二	ーズ)		2号認定-	├3号認定	
				1号(A)	2号(B) (教育ニーズ)	合計	2号(C)	3号	(D)	合計
				3~5歳	3~5歳	(A)+(B)	3~5歳	O歳	1~2歳	(C)+(D)
		8.53.4	1計画	352	206	558	547	35	345	927
		量の見込み	②実績	344	195	539	550	29	339	918
		[A]	③差(②-①)	△ 8	Δ 11	△ 19	3	Δ 6	Δ 6	△ 9
			4計画	313	206	519	500	132	294	926
	2	確保方策	<u>⑤明日</u> ⑤実績	324	195	519	485	131	297	913
	年	[B]	⑥差(⑤-④)	11	Δ 11	0	∆ 15	Δ1	3	∆ 13
	度		⑦計画(④-①)	△ 39	0	△ 39	△ 47	97	△ 51	Δ 1
		[B]-[A]	8実績(S)-(2)	△ 20	0	△ 20	Δ 47 Δ 65	102	△ 42	△ 5
			9計画	<u> </u>	_	<u> </u>		-		
		確保必要数	⑩実績		_		0	0	0	0
		唯体心女奴	①美根				0	0	0	0
	_			000		500	_			
		量の見込み	①計画 ②実績	338	198	536	545	34	346	925
_		[A]	9	299	204	503	555	32	325	912
点			③差(②-①)	△ 39	6	△ 33	10	Δ 2	△ 21	△ 13
検・		確保方策	④計画	321	198	519	500	132	294	926
· 評	3年	(B)	⑤実績	315	204	519	485	131	297	913
価	年度		⑥差(⑤-④)	Δ 6	6	0	△ 15	Δ1	3	△ 13
,	汉	[B]-[A]	⑦計画(④-①)	△ 17	0	△ 17	△ 45	98	△ 52	1
		1-2 12	8実績(5-2)	16	0	16	△ 70	99	△ 28	1
			9計画		_		-	-	-	-
		確保必要数	⑩実績				0	0	0	0
	_		①差(①-⑨)	204		514	0	0 33	0	0 912
		量の見込み	① <u>計画</u> ②実績	324 264	190 192	456	531 523	26	348 316	865
		確保方策	③差(②-(1))	△ 60	2	△ 58	∆ 8		△ 32	△ 47
	4	確保方策	④計画	329	190	519	500	132	294	926
	年	(B)	<u>⑤実績</u>	327	192	519	485	131	297	913
	度		⑥差(⑤-④)	<u>△ 2</u>	0	<u>0</u> 5	△ 15 △ 31	Δ 1	3	△ 13 14
		[B]-[A]	⑦計画(④-①) 8実績(⑤-②)	5 63	0	63	△ 31 △ 38	99 105	△ 54 △ 19	48
			9計画	00	_	- 00	-	-		-
		確保必要数	⑩実績							0
			⑪差(⑩-⑨)		-		0	0	0	0
		量の見込み	①計画	324	190	514	531	33	348	912
		[A]	②見直し後	237	172	409	500	26	324	850
			③差(②-①)	△ 87	△ 18	△ 105	△ 31	△ 7	△ 24	△ 62
見直		確保方策	④計画	329	190	519	500	132	294	926
し	5	TERが来 【B】	⑤見直し後	347	172	519	490	129	294	913
後	年		⑥差(⑤-④)	18	△ 18	0	△ 10	△ 3	0	△ 13
の	度	[B]-[A]	⑦計画(④-①)	5	0	5	△ 31	99	△ 54	14
量		101 1/1	⑧見直し後(⑤-②)	110	0	110	△ 10	103	△ 30	63
0			9計画							
見込		確保必要数	⑪見直し後							
ひみ			⑪差(⑪-⑨)							
及		星の目3.7。	1計画	324	190	514	531	33	348	912
び		量の見込み 【A】	②見直し後	212	154	366	479	26	340	845
確		L/G	③差(②-①)	△ 112	△ 36	△ 148	△ 52	△ 7	Δ 8	△ 67
	6	T# /D //-	④計画	329	190	519	500	132	294	926
保方策	年	確保方策 【B】	⑤見直し後	365	154	519	490	129	294	913
策(度	rel	⑥差(⑤-④)	36	△ 36	0	△ 10	△ 3	0	△ 13
安		IDI. IAI	⑦計画(④-①)	5	0	5	△ 31	99	△ 54	14
案		[B]-[A]	8見直し後(⑤-②)	153	0	153	11	103	△ 46	68
			9計画							
		確保必要数	⑪見直し後							
			①差(①-⑨)							
			J						(冬年度	4月1日時点)

(各年度4月1日時点)

見直し後の確保必要数	_	0	0	50	50
------------	---	---	---	----	----

※6年度に見込まれる不足数を解消するために必要な数

《令和5・6年度の確保方策および確保必要数について》

◎確保方策について

・5年度からの年齢別利用調整開始を踏まえ、4年度に行った各認定区分間の定員変更調査の結果について、5年度以降の確保方策に反映している。

- ・確保必要数については、6年度で量の見込みに対する確保方策の不足が解消される数を確保する。
- ・確保の手法については、既存施設を活用した定員増を基本としつつも、必要に応じて、保育所等の整備による対応を図る。

					4 早初中			(単位:人)			
				+2号	1号認定 認定(教育二	ーズ)		2号認定+	-3号認定		
				1号(A)	2号(B) (教育ニーズ)	合計 (A) ± (B)	2号(C)	3号	(D)	合計 (C) + (D)	
_				3~5歳	3~5歳	(A)+(B)	3~5歳	O歳	1~2歳	(C)+(D)	
		显示日17.7	①計画	522	185	707	721	58	460	1,239	
		量の見込み 【A】	②実績	445	266	711	727	52	457	1,236	
		141	③差(②-①)	△ 77	81	4	6	△ 6	△ 3	△ 3	
			④計画	684	185	869	605	195	444	1,244	
	2	確保方策 【B】	⑤実績	588	266	854	595	192	437	1,224	
	年	r _D 1	⑥差(⑤-④)	△ 96	81	△ 15	△ 10	△ 3	Δ7	△ 20	
	度	[D] [A]	⑦計画(④-①)	162	0	162	△ 116	137	△ 16	5	
		[B]-[A]	8実績(5-2)	143	0	143	△ 132	140	△ 20	△ 12	
			9計画		-		30	10	20	60	
		確保必要数	⑩実績		_		19	7	14	40	
			①差(①-⑨)		_		Δ 11	Δ3	Δ 6	△ 20	
			①計画	513	182	695	742	56	473	1,271	
		量の見込み	②実績	413	266	679	743	51	454	1,248	
点		[A]	③差(②-①)	Δ 100	84	△ 16	1	△ 5	△ 19	△ 23	
検		_,	4計画	687	182	869	635	205	464	1,304	
	3	確保方策	⑤実績	561	266	827	614	206	468	1,288	
評	年	[B]	⑥差(⑤)-④)	△ 126	84	△ 42	△ 21	1	400	∆ 16	
価	度	F-3 3	⑦計画(4-1)	174	0	174	△ 107	149	Δ 9	33	
		[B]-[A]	8実績(5-2)	148	0	148	△ 129	155	14	40	
			9計画					-		_	
		確保必要数	⑩実績		_		0	0	0	0	
			①差(①-⑨)		-		0	0	0	0	
		量の見込み	①計画	502	178	680	761	55	488	1,304	
		[A]	②実績	396	265	661	755	62	442	1,259	
	4		③差(②-①)	△ 106	87 178	△ 19	<u>∆</u> 6	7	<u>△ 46</u>	△ 45	
	年	確保方策	<u>④計画</u> ⑤実績	691 562	265	869 827	635 609	205 211	464 482	1,304 1,302	
	度	(B)	⑥差(⑤-④)	△ 129	87	△ 42	△ 26	6	18	∆ 2	
		[B]-[A]	⑦計画(④-①)	189	0	189	△ 126	150	△ 24	0	
		[B]-[A]	8実績(5-2)	166	0	166	△ 146	149	40	43	
		確保必要数	<u>⑨計画</u> ⑩実績		_		_	_		0	
		唯 体 2 · 文 纵	①美(①-⑨)		_		0	0	0	0	
			①計画	502	178	680	761	55	488	1,304	
		量の見込み	②見直し後	364	244	608	729	66	459	1,254	
		[A]	③差(②-①)	Δ 138	66	△ 72	△ 32	11	△ 29	△ 50	
見		T+ /D : ++	4計画	691	178	869	635	205	464	1,304	
直	5	確保方策	⑤見直し後	583	244	827	628	201	473	1,302	
し後	年	(B)	⑥差(⑤-④)	△ 108	66	△ 42	△ 7	<u>∠</u> 4	9	△ 2	
仮の	度	7-3 7-3	⑦計画(4-1)	189	0	189	△ 126	150	△ 24	0	
量		[B]-[A]	8見直し後(5-2)	219	0	219	△ 101	135	14	48	
の			9計画								
見		確保必要数	⑪見直し後								
込			①差(⑩-⑨)								
み			①計画	502	178	680	761	55	488	1,304	
及び		量の見込み	②見直し後	342	229	571	720	67	463	1,250	
確		[A]	③差(②-①)	△ 160	51	△ 109	△ 41	12	△ 25	△ 54	
保	6	_, _ , ,	4計画	691	178	869	635	205	464	1,304	
保方策	年	確保方策	⑤見直し後	598	229	827	628	201	473	1,302	
策	度	(B)	⑥差(⑤-④)	△ 93	51	△ 42	△ 7	<u>∠</u> 4	9	△ 2	
, ,		/nl /.l	⑦計画(④-①)	189	0	189	△ 126	150	△ 24	0	
案		[B]-[A]	8見直し後(5-2)	256	0	256	△ 92	134	10	52	
			9計画								
		確保必要数	⑪見直し後								
			①差(⑩-⑨)								
									(タ年度	4月1日時点)	

日本し後の歴史と悪器			_	_	
見直し後の確保必要数	_	100	0	0	100

※6年度に見込まれる不足数を解消するために必要な数

《令和5・6年度の確保方策および確保必要数について》

◎確保方策について

・5年度からの年齢別利用調整開始を踏まえ、4年度に行った各認定区分間の定員変更調査の結果につい て、5年度以降の確保方策に反映している。

- ・確保必要数については、6年度で量の見込みに対する確保方策の不足が解消される数を確保する。
- ・確保の手法については、既存施設を活用した定員増を基本としつつも、必要に応じて、保育所等の整備に よる対応を図る。

										(単位:人)
				+2号	1号認定 ·認定(教育二	ーズ)		2号認定-	├3号認定	
				1号(A)	2号(B) (教育ニーズ)	合計	2号(C)	3号	(D)	合計
				3~5歳	3~5歳	(A)+(B)	3~5歳	0歳	1~2歳	(C)+(D)
		8.53.	1計画	18	0	18	39	5	24	68
		量の見込み 【A】	②実績	12	0	12	42	4	21	67
		1~1	③差(②-①)	Δ 6	0	△ 6	3	Δ1	△ 3	Δ1
		7da /13	④計画	105	0	105	45	15	30	90
	2	確保方策 【B】	⑤実績	105	0	105	45	15	30	90
	年	101	⑥差(⑤-④)	0	0	0	0	0	0	0
	度	[B]-[A]	⑦計画(④-①)	87	0	87	6	10	6	22
		157 1/12	8実績(5-2)	93	0	93	3	11	9	23
			9計画		-		-	-	-	-
		確保必要数	⑩実績		-		0	0	0	0
			①差(①-⑨)		-		0	0	0	0
		量の見込み	①計画	18	0	18	39	5	23	67
		[A]	②実績	8	0	8	44	3	19	66
点			③差(②-①)	Δ 10	0	△ 10	5	Δ2	△ 4	Δ1
検		確保方策	4計画 (CD)##	105	0	105	45	15	30	90
評	3 年	[B]	⑤実績	105	0	105	45	15	30	90
価	度		⑥差(⑤-④) ⑦計画(④-①)	0	0	0	0	0	0	0
		[B]-[A]	8実績(⑤-②)	87 97	0	87 97	6 1	10 12	7 11	23 24
			9計画	97	_	31		-		
		確保必要数	①実績		_		0	0	0	0
			①差(⑪-⑨)		-		0	0	0	0
		量の見込み	① <u>計画</u>	18	0	18	38	4	24	66
		[A]	②実績 3差(②-①)	6 △ 12	0	6 △ 12	36 △ 2	3 △ 1	12 △ 12	51 △ 15
	4	T#/0 + #	(4)計画	105	0	105	45	15	30	90
	年	確保方策 【B】	⑤実績	105	0	105	45	15	30	90
	度	102	⑥差(⑤-④) ⑦計画(④-①)	0 87	0	0 87	0 7	0	0	0 24
		[B]-[A]	8実績(5-2)	99	0	99	9	11 12	18	39
			9計画	55,	-		-	-	-	-
		確保必要数	⑪実績							0
			①差(⑩-⑨) ①計画	18	- 0	10	38	0	0 24	66
		量の見込み	②見直し後	5	0	18 5	33	3	15	51
		[A]	③差(②-①)	△ 13	0	∆ 13	∆ 5		△ 9	△ 15
見			(4)計画	105	0	105	45	15	30	90
直	5	確保方策	⑤見直し後	105	0	105	45	15	30	90
後	年	(B)	⑥差(⑤-④)	0	0	0	0	0	0	0
仮の	度	[D] [1]	⑦計画(④-①)	87	0	87	7	11	6	24
量		[B]-[A]	⑧見直し後(⑤-②)	100	0	100	12	12	15	39
の			9計画							
見込		確保必要数	⑪見直し後							
込み			⑪差(⑩-⑨)							
及		量の見込み	①計画	18	0	18	38	4	24	66
及 び		I (A)	②見直し後	3	0	3	25	3	19	47
確			③差(②-①)	△ 15	0	△ 15	△ 13	Δ1	△ 5	△ 19
保方	6	確保方策	④計画	105	0	105	45	15	30	90
策	年度	[B]	⑤見直し後	105	0	105	45	15	30	90
$\overline{}$	汉		⑥差(⑤-④) ⑦計画(④-①)	0 87	0	0 87	<u> </u>	0 11	6	0 24
案		[B]-[A]	8見直し後(5-2)	102	0	102	20	12	11	43
			9計画	102	U	102	20	12	- 11	43
		確保必要数	⑪見直し後							
			①差(⑩-⑨)							
									(各年度	4月1日時点)

見直し後の確保必要数 0 0

※6年度に見込まれる不足数を解消するために必要な数

《令和5・6年度の確保方策および確保必要数について》

◎確保方策について

・5年度からの年齢別利用調整開始を踏まえ、4年度に行った各認定区分間の定員変更調査の結果につい て、5年度以降の確保方策に反映している。

◎確保必要数について

・確保必要数については、6年度で量の見込みを上回る確保方策が見込まれることから、特段の対応を要し

				1旦初中			(単位:人)			
				+2号	1号認定 ·認定(教育二	ーズ)		2号認定Ⅎ	-3号認定	
				1号(A)	2号(B) (教育ニーズ)	合計 (A)+(B)	2号(C)	3号	(D)	合計 (C)+(D)
_				3~5歳	3~5歳	(A) T (B)	3~5歳	O歳	1~2歳	(C)+(D)
		显示日17.7	①計画	65	19	84	153	22	72	247
		量の見込み 【A】	②実績	41	23	64	154	15	89	258
		141	③差(②-①)	△ 24	4	△ 20	1	△ 7	17	11
			④計画	111	19	130	149	40	91	280
	2	確保方策 【B】	⑤実績	107	23	130	149	40	91	280
	年	rel	⑥差(⑤-④)	△ 4	4	0	0	0	0	0
	度	701 711	⑦計画(④-①)	46	0	46	△ 4	18	19	33
		[B]-[A]	8実績(5-2)	66	0	66	△ 5	25	2	22
			9計画		_		-	-	_	_
		確保必要数	⑩実績		-		0	0	0	0
			①差(⑩-⑨)		_		0	0	0	0
	П		①計画	66	19	85	151	22	68	241
		量の見込み	②実績	39	25	64	142	9	83	234
点		[A]	③差(②-①)	△ 27	6	△ 21	△ 9	∆ 13	15	
検			④ 上(2) ① //④ 計画	111	19	130	149	40	91	280
•	3	確保方策	5実績	105	25	130	149	40	91	280
評	年	[B]	6差(5-4)	△ 6	6	0	0	0	0	0
価	度		⑦計画(4)-①)	45	0	45	0 △ 2	18	23	39
		[B]-[A]	8実績(5-2)	66	0	66	7	31	8	46
			9計画	- 00	_	- 00		-		-
		確保必要数	①実績		_		0	0	0	0
			①差(①-⑨)		_		0	0	0	0
		量の目込み	①計画	64	18	82	148	22	65	235
		Eの見込み 【A】	②実績	46	20	66	145	14	68	227
	4		③差(②-①)	<u>∆ 18</u>	2 18	△ 16	△ 3	<u>△ 8</u> 40	3	<u>△</u> 8 280
	年		<u>④計画</u> ⑤実績	112 110	20	130 130	149 149	40	91 91	280
	度	(B)	⑥差(⑤-④)	△ 2	2	0	0	0	0	0
		[B]-[A]	⑦計画(④-①)	48	0	48	1	18	26	45
			8実績(5-2)	64	0	64	4	26	23	53
		確保必要数	9計画 10実績					_	_	0
		#E/N2/55	①差(①-⑨)		_		0	0	0	0
			①計画	64	18	82	148	22	65	235
		量の見込み	②見直し後	44	19	63	141	14	65	220
		[A]	③差(②-①)	△ 20	1	△ 19	△ 7	△ 8	0	△ 15
見		T+ /D : ++	4計画	112	18	130	149	40	91	280
直	5	確保方策	⑤見直し後	111	19	130	154	33	93	280
し後	年	(B)	⑥差(⑤-④)	Δ1	1	0	5	△ 7	2	0
の	度	[D] [1]	⑦計画(④-①)	48	0	48	1	18	26	45
量		[B]-[A]	8見直し後(5-2)	67	0	67	13	19	28	60
の			9計画							
見		確保必要数	⑪見直し後							
込			①差(⑪-⑨)							
み及			①計画	64	18	82	148	22	65	235
びび		量の見込み	②見直し後	38	17	55	123	14	70	207
確		[A]	③差(②-①)	△ 26	Δ 1	△ 27	△ 25	Δ 8	5	△ 28
保	6	T-10 1 11	4計画	112	18	130	149	40	91	280
保方策	年	確保方策	⑤見直し後	113	17	130	154	33	93	280
策	度	(B)	⑥差(⑤-④)	1	Δ1	0	5	Δ 7	2	0
\$		[D] [1]	⑦計画(④-①)	48	0	48	1	18	26	45
案		[B]-[A]	8見直し後(5-2)	75	0	75	31	19	23	73
			9計画							
		確保必要数	⑪見直し後							
			①差(①-⑨)							
			J						(タ年度	4月1日時点)

(各年度4月1日時点)

見直し後の確保必要数 - 0 0 0 0

※6年度に見込まれる不足数を解消するために必要な数

《令和5・6年度の確保方策および確保必要数について》

◎確保方策について

・5年度からの年齢別利用調整開始を踏まえ、4年度に行った各認定区分間の定員変更調査の結果について、5年度以降の確保方策に反映している。

◎確保必要数について

・確保必要数については、6年度で量の見込みを上回る確保方策が見込まれることから、特段の対応を要しない。

										(単位:人)
				+2号	1号認定 ·認定(教育二	ーズ)		2号認定-	├3号認定	
				1号(A)	2号(B) (教育ニーズ)	合計 (A)+(B)	2号(C)		(D)	合計 (C)+(D)
_				3~5歳	3~5歳	(A) 1 (D)	3~5歳	O歳	1~2歳	(0) 1 (D)
		量の見込み	①計画	68	9	77	155	11	72	238
		I EUREON 【A】	②実績	48	21	69	161	13	68	242
		L	③差(②-①)	△ 20	12	△ 8	6	2	△ 4	4
			④計画	51	9	60	139	38	78	255
	2	確保方策	⑤実績	39	21	60	139	38	78	255
	年	[B]	⑥差(⑤-④)	△ 12	12	0	0	0	0	0
	度	7-7 7.7	⑦計画(④-①)	△ 17	0	△ 17	△ 16	27	6	17
		[B]-[A]	8実績(5-2)	△ 9	0	△ 9	△ 22	25	10	13
			9計画		-		-	_	_	_
		確保必要数	⑩実績		_		0	0	0	0
			①差(①-⑨)		_		0	0	0	0
			①計画	69	9	78	153	10	71	234
		量の見込み	②実績	41	9	50	153	5	70	228
点		[A]	③差(②-①)	△ 28	0		0	5	Δ 1	△ 6
検			<u>る差(と)</u> ④計画	51	9	60	139	38	78	255
•	3	確保方策	5実績	51	9	60	139	38	78	250
評	年	[B]	⑤美根 ⑥差(⑤-④)	0	0	0	135 △ 4			
価	度		⑦計画(4)-(1)		0		△ 4 △ 14	<u>△ 1</u> 28	7	△ 5
		[B]-[A]		△ 18		△ 18	Δ 14 Δ 18	32		21
			8実績(⑤-②)	10	0	10	△ 18	32	8	22
		確保必要数	9計画				_		_	_
		唯体必安奴	⑩実績 ⑪差(⑩-⑨)				0	0	0	0
		B - E 3 -	①計画	69	9	78	151	9	69	229
		量の見込み	②実績	52	13	65	151	10	76	237
		確保方策	③差(②-①)	△ 17	4	△ 13	0	1	7	8
	4	確保方策	<u>④計画</u>	51	9	60	139	38	78	255
	年度	[B]	⑤実績 ⑥差(⑤-④)	47 △ 4	13 4	60 0	135 △ 4	37 △ 1	78 0	250 △ 5
	反	7-7 7.7	7計画(4-1)	△ 4 △ 18	0	0 △ 18	△ 4 △ 12	29	9	26
		[B]-[A]	8実績(⑤-②)		0		∆ 16	27	2	13
			9計画		-		-	-	-	-
		確保必要数	①実績							0
			①差(①-⑨)	22		7.0	0	0	0	0
		量の見込み	①計画	69	9	78	151	9	69	229
		[A]	②見直し後	54	14	68	155	11	69	235
見			③差(②-①)	△ 15	5	△ 10	4	2	0	6
直		確保方策	④計画	51	9	60	139	38	78	255
し	5	(B)	⑤見直し後	46	14	60	140	32	78	250
後	年度		⑥差(⑤-④)	△ 5	5	0	1	Δ 6	0	△ 5
<u>ග</u>	度	[B]-[A]	⑦計画(④-①)	△ 18	0	△ 18	△ 12	29	9	26
量			8見直し後(⑤-②)	Δ 8	0	△ 8	△ 15	21	9	15
の			9計画							
見込		確保必要数	⑪見直し後							
み			⑪差(⑪-⑨)							
及		量の見込み	①計画	69	9	78	151	9	69	229
及 び		I EU兄込の 【A】	②見直し後	53	13	66	149	11	70	230
確			③差(②-①)	△ 16	4	△ 12	△ 2	2	1	1
保方	6	確保方策	④計画	51	9	60	139	38	78	255
万	年	唯体力束 【B】	⑤見直し後	47	13	60	140	32	78	250
策(度		⑥差(⑤-④)	△ 4	4	0	1	△ 6	0	△ 5
案		[B]-[A]	⑦計画(④-①)	△ 18	0	△ 18	△ 12	29	9	26
\odot		107 147	8見直し後(5-2)	Δ 6	0	△ 6	△ 9	21	8	20
			9計画							
		確保必要数	⑪見直し後							
			⑪差(⑩-⑨)							
									(各年度	4月1日時点)

見直し後の確保必要数 10 0 0 10

※6年度に見込まれる不足数を解消するために必要な数

《令和5・6年度の確保方策および確保必要数について》

◎確保方策について

・5年度からの年齢別利用調整開始を踏まえ、4年度に行った各認定区分間の定員変更調査の結果につい て、5年度以降の確保方策に反映している。

- ・確保必要数については、6年度で量の見込みに対する確保方策の不足が解消される数を確保する。
- ・確保の手法については、既存施設を活用した定員増を基本としつつも、必要に応じて、保育所等の整備に よる対応を図る。

										(単位:人)
				+2号	1号認定 ·認定(教育二	ーズ)		2号認定Ⅎ	├3号認定	
				1号(A)	2号(B) (教育ニーズ)	合計 (A)+(B)	2号(C)	3号		合計 (C)+(D)
_				3~5歳	3~5歳	(A) 1 (B)	3~5歳	O歳	1~2歳	(0) 1 (D)
		量の見込み	①計画	170	93	263	270	24	149	443
		■ EU兄込み 【A】	②実績	184	77	261	282	31	171	484
		1 1/1	③差(②-(1))	14	△ 16	Δ 2	12	7	22	41
			4計画	190	0	190	271	82	178	531
		確保方策	⑤実績	113	77	190	256	80	174	510
	2 年	[B]	⑥差(⑤-④)	△ 77	77	0		∆ 2		△ 21
	生度						△ 15			
	反	[B]-[A]	⑦計画(④-①)	20	△ 93	△ 73	1	58	29	88
			8実績(5-2)	△ 71	0	△ 71	△ 26	49	3	26
			9計画				_	_	-	-
		確保必要数	⑩実績		-		0	0	0	0
			①差(①-⑨)		-		0	0	0	0
			1計画	168	92	260	282	25	152	459
		量の見込み	②実績	158	93	251	279	25	226	530
点		[A]	③差(②-①)	△ 10	1	△ 9	△ 3	0	74	71
検			<u>る差(と)</u> ④計画	190	0	190	271	82	178	531
1天	2	確保方策								
評	3 年	[B]	⑤実績	97	93	190	246	77	167	490
一個	平 度		⑥差(⑤-④)	△ 93	93	0	△ 25	△ 5	Δ 11	△ 41
بسرر	这	[B]-[A]	⑦計画(④-①)	22	△ 92	△ 70	△ 11	57	26	72
			8実績(⑤-②)	△ 61	0	△ 61	△ 33	52	△ 59	△ 40
			9計画		_		-	-	-	_
		確保必要数	⑪実績		_		0	0	0	0
			①差(①-⑨)		-		0	0	0	0
		量の見込み	①計画	165	90	255	293	25	155	473
		[A]	②実績	177	119	296	290	32	184	506
	4	確保方策	③差(②-①)	12	29	41	<u>∆</u> 3	7	29	33
	年		(4)計画 (5)実績	190 71	0 119	190 190	271 241	82 75	178 164	531 480
	生度	[B]	6差(5-4)	△ 119	119	0	△ 30		△ 14	△ 51
	1X	753 743	⑦計画(4-1)	25	△ 90	△ 65	△ 22	57	23	58
		[B]-[A]	8実績(5-2)	Δ 106	0	Δ 106	△ 49	43	△ 20	△ 26
			9計画				-	_	-	_
		確保必要数	⑩実績							0
			⑪差(⑩-⑨)		-		0	0	0	0
		量の見込み	①計画	165	90	255	293	25	155	473
		I EU元込の	②見直し後	172	116	288	285	35	228	548
			③差(②-①)	7	26	33	△ 8	10	73	75
見		74 /D -L fete	4計画	190	0	190	271	82	178	531
直	5	確保方策	⑤見直し後	74	116	190	250	70	160	480
14	年	[B]	⑥差(⑤-④)	△ 116	116	0	△ 21	△ 12	△ 18	<u>△</u> 51
後の	度		⑦計画(4-1)	25	△ 90	△ 65	△ 22	57	23	58
量		[B]-[A]	8見直し後(⑤-②)	△ 98	0	△ 98	△ 35	35	△ 68	△ 68
里の				△ 298	U	△ 98	△ 35	35	△ 08	△ 08
見		かロシェル	9計画							
认		確保必要数	⑪見直し後							
み			⑪差(⑩-⑨)							
及		量の見込み	①計画	165	90	255	293	25	155	473
及 び		I EURLON 【A】	②見直し後	174	117	291	289	36	270	595
確			③差(②-①)	9	27	36	△ 4	11	115	122
保方	6	7th /13 -1- tri-	④計画	190	0	190	271	82	178	531
方	年	確保方策	⑤見直し後	73	117	190	250	70	160	480
策	度	[B]	⑥差(⑤-④)	△ 117	117	0	△ 21	△ 12	△ 18	△ 51
			⑦計画(4-1)	25	△ 90	△ 65	△ 22	57	23	58
案		[B]-[A]	8見直し後(5-2)	△ 101	<u> </u>	△ 101	△ 39	34	△ 110	△ 115
				Δ 101	U	Δ 101		34	Δ 110	Δ 113
		かロシェル	9計画							
		確保必要数	⑪見直し後							
			⑪差(⑩-⑨)							
							· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		(タ年中	4月1日時点)

(各年度4月1日時点)

- 1						
	見直し後の確保必要数	-	40	0	110	150

※6年度に見込まれる不足数を解消するために必要な数

《令和5・6年度の確保方策および確保必要数について》

◎確保方策について

・5年度からの年齢別利用調整開始を踏まえ、4年度に行った各認定区分間の定員変更調査の結果について、5年度以降の確保方策に反映している。

- ・確保必要数については、6年度で量の見込みに対する確保方策の不足が解消される数を確保する。
- ・確保の手法については、既存施設を活用した定員増を基本としつつも、必要に応じて、保育所等の整備による対応を図る。

										(単位:人)
				+2号	1号認定 認定(教育二	ーズ)		2号認定-	├3号認定	
				1号(A)	2号(B) (教育ニーズ)	合計 (A)+(B)	2号(C)	3号	(D)	合計 (C)+(D)
				3~5歳	3~5歳	(A) T (B)	3~5歳	O歳	1~2歳	(C)+(D)
		量の見込み	①計画	38	0	38	66	11	55	132
		■ UR込み 【A】	②実績	27	14	41	80	7	42	129
		I AJ	③差(②-(1))	△ 11	14	3	14	△ 4	△ 13	△ 3
			4計画	40	0	40	74	21	45	140
	2	確保方策	<u>⑤ 計 日</u> ⑤ 実績	26	14	40	74	21	45	140
	年	[B]	⑥差(⑤-④)	△ 14	14	0	0	0	0	0
	度		⑦計画(4-1)	2	0	2	8	10	∆ 10	8
	_	[B]-[A]	8実績(⑤-②)		0			14	3	11
			9計画	Δ1		Δ1	Δ 0	14	3	- ''
		確保必要数			_		0	0	0	
		唯体必安数	⑪実績						_	0
	_		①差(①-⑨)		-		0	0	0	0
		量の見込み	①計画	37	0	37	64	11	57	132
		[A]	②実績	32	10	42	84	5	49	138
点			③差(②-①)	△ 5	10	5	20	Δ6	Δ8	6
検		確保方策	④計画	40	0	40	74	21	45	140
	3	I 唯保力束 【B】	⑤実績	30	10	40	74	21	45	140
評	年	101	⑥差(⑤-④)	Δ 10	10	0	0	0	0	0
価	度	[D] [A]	⑦計画(4-1)	3	0	3	10	10	△ 12	8
		[B]-[A]	8実績(5-2)	Δ2	0	△ 2	△ 10	16	△ 4	2
			9計画		_		_	-	_	-
		確保必要数	⑩実績		-		0	0	0	0
			⑪差(⑪-⑨)		-		0	0	0	0
		量の見込み	①計画 ①計画	35	0	35	60	12	59	131
		[A]	②実績	39	0	39	90	7	51	148
	4	確保方策	③差(②-①) ④計画	40	0	40 40	30 74	<u>△ 5</u> 21	<u>△ 8</u> 45	17 140
	年		5実績	40	0	40	74	21	45	140
	度	[B]-[A]	⑥差(⑤-④)	0		0	0	0	0	0
		[B]-[A]	⑦計画(④-①)	5	0	5	14	9	△ 14	9
		[B]_[A]	8実績(5-2)	1		1	△ 16	14	△ 6	△ 8
		確保必要数	9計画				_	_	_	- 0
		唯体心女奴	①実績 ①差(⑩-⑨)				0	0	0	0
			①計画	35	0	35	60	12	59	131
		量の見込み	②見直し後	34	0	34	85	8	45	138
		[A]	③差(②-①)	Δ 1	0	∆ 1	25	∆ 4	△ 14	7
見			(4)計画	40	0	40	74	21	45	140
直	_	確保方策	(4) 計画 (5) 見直し後	40	0	40	72	16	45	135
L	5年	[B]	⑤見直し後 ⑥差(⑤-④)	0	0				2	135 △ 5
後	一度					0	△ 2	△ 5		
の	反	[B]-[A]	⑦計画(4-1)	5	0	5	14	9	△ 14	9
量の			8見直し後(⑤-②)	6	0	6	△ 13	8	2	△ 3
見		74/0 2 平坐	⑨計画							
込		確保必要数	⑪見直し後							
み	_		⑪差(⑪-⑨)							
及		量の見込み	①計画	35	0	35	60	12	59	131
び		[A]	②見直し後	30	0	30	82	9	45	136
確			③差(②-①)	△ 5	0	△ 5	22	△ 3	△ 14	5
保	6	確保方策	④計画	40	0	40	74	21	45	140
方		III III III III III III III III III II	⑤見直し後	40	0	40	72	16	47	135
策(度		⑥差(⑤-④)	0	0	0	△ 2	△ 5	2	△ 5
案		[B]-[A]	⑦計画(④-①)	5	0	5	14	9	△ 14	9
\odot		TPJ - [W]	8見直し後(⑤-②)	10	0	10	Δ 10	7	2	Δ1
			9計画							
		確保必要数	⑩見直し後							
			①差(①-⑨)							
									(各年度	4月1日時点)

見直し後の確保必要数 - 10 0 0 10

※6年度に見込まれる不足数を解消するために必要な数

《令和5・6年度の確保方策および確保必要数について》

◎確保方策について

・5年度からの年齢別利用調整開始を踏まえ、4年度に行った各認定区分間の定員変更調査の結果について、5年度以降の確保方策に反映している。

- ・確保必要数については、6年度で量の見込みに対する確保方策の不足が解消される数を確保する。
- ・確保の手法については、既存施設を活用した定員増を基本としつつも、必要に応じて、保育所等の整備による対応を図る。

量の見込みに対する確保必要数(全市域)

第二期計画策定時では、保育(2号及び3号)の受け皿として、5区域(城西、武・田上、谷山北部、谷山、吉野)で計480人分を確保必要数と設定し確保を図ってきたが、今回の見直しでは、令和6年度までに、下記区域で新たに計840人分の確保必要数を設定し確保を図ることとする。

区	lat	2号	3-	号	確保必要数
	巧.	3~5歳	O歳	1~2歳	唯体心女奴
中	央	0	0	0	0
上	町	50	0	50	100
鴨	池	0	0	10	10
城	田	50	0	10	60
武•日	土田	10	0	0	10
谷山	北部	30	0	40	70
谷	臣	160	0	110	270
伊	敷	0	0	50	50
吉	野	100	0	0	100
桜	島	0	0	0	0
吉	田	0	0	0	0
喜	入	10	0	0	10
松	元	40	0	110	150
郡	山	10	0	0	10
合	計	460	0	380	840

2. 地域子ども・子育て支援事業の提供体制

【用語解説】

「量の見込み」:各サービスの利用に関するニーズ調査や、現在の利用状況等から 見込まれる各サービスの必要量

「確保方策」:「量の見込み」に対する各サービスの提供量

※ 単位等は、サービスを利用する児童や保護者の人数、日数、回数や、事業の実施か所数 などを、各事業内容に応じて設定

(1)延長保育事業 【保育幼稚園課】

ア. 点検・評価

対象年齢	0~5歳	0~5歳									
事業内容	通常の利用時間以外の日及び時間において、保育所等で引き続き保育を実施する。										
	(各年度3月31日時点) 単位:人										
量の見込み 及び	量の見込み(ニーズ) 確保方策(提供量) 量の見込みと確保方策 の差										
確保方策											
	2 年 度	8,616	6,607	△ 2,009	8,616	6,607	△ 2,009	0	0		
	3 年 度	8,705	7,789	△ 916	8,705	7,789	△ 916	0	0		
	4 年 度	8,770			8,770			0			
	に対する 過不足理由	延長保育事業	業を利用する	利用児童数/	が見込みより	少なかったた	ːめ。				
今後	その方針	今後も、利用	者のニーズ・	や施設の状況	己に応じて、継	続して実施す	する。				

イ. 見直し(案)等

見直し方針	一.	要:見直し理否:見直さな	·	量の見込みの算出基礎としている、保育の量の見込みを見直すため						
	上記で「要」に〇を作	けした場合は	、空欄に見直	直し後の数値をご記入ください。 単位:人						
見直し後の量の見込み		量 <i>0</i> .)見込み(ニー	-ズ)	確何	保方策(提供	量)	見直し後の		
型の見込み 及び 確保方策(案)		①当初計画	②見直し後	③差 (②一①)	④当初計画	⑤見直し後	⑥差 (⑤-④)	⑦当初計画 (④-①)	8見直し後(5-2)	
	5 年 度	8,770	7,492	△ 1,278	8,770	7,492	△ 1,278	0	0	
	6 年 度	8,770	7,414	△ 1,356	8,770	7,414	△ 1,356	0	0	
見直し後の 量の見込みの 算出方法の 考え方	【当初計画】・延長保育は、保育号・3号認定)と密接・このことから、令和める延長保育事業の令和5年度と6年度業の実利用人数の	な関係があり 12年から6年 の実利用人数 の算出の考え の保育の量の	る。 度の保育の なの割合の平 方 プ プ プ プ プ プ プ プ プ プ プ プ プ の で の お の の お の の で の も の で の も の で の も の も の も の も の	その見込みの 均(61.9%)を 対(61.9%)を 対(で、平成2	が数値に、平原乗じて算出す	成27年から 1 る。	介和元年度の	保育の量の!	見込みに占	
見直し後の 確保方策の 算出方法の 考え方	【当初計画】 ・原則、全ての施設 る。 【見直しに当たって(・原則、全ての施設)	の算出の考え	.方】							
-37273	る。	テネて交胎		~	-11-20 (10	-(13/13 E 0)-	— ハガ C畑	0-15716. 3.0	, 53, 6,	